

# 第33回定時株主総会

そーせいグループ株式会社

# 免責事項

本資料は、そせいグループ株式会社およびその子会社(以下、総称して「当社グループ」)に関する本資料作成時の一般的な情報を記載しています。本資料は、情報提供を目的としたものであり、有価証券の投資勧誘や投資アドバイスとして解されるべきものではありません。本資料は、受領者の具体的な投資目的、財務状況、または特定のニーズに合わせて作成されたものではありません。また、第三者による有価証券の評価またはその募集の根拠を提供することを意図しておらず、何らかの有価証券の申込または購入を推奨するための資料ではありません。

本資料の情報は、要約であり全情報ではありません。一部の情報は、公開情報源から入手されています。当社グループは、明示的あるいは黙示的に関わらず、本資料に含まれている情報の正確性、公平性、または完全性に関して一切表明または保証せず、当該情報の正確性、公平性、または完全性に頼るべきではありません。当社グループは、新しい情報および/または将来の出来事に照らし合わせて本資料を更新する責任または責務を負いません。また、当社グループは、改訂または変更を通知する義務を負うことなく、自己の裁量により本資料の内容を任意の方法で改訂、修正、または変更できます。

本資料には、1933年の米国証券法のセクション27A(改定を含む)および1934年の米国証券取引所法のセクション21E(改定を含む)で定義されている「将来予測に関する記述」が含まれています。「信じる」、「期待する」、「予測する」、「意図する」、「計画する」、「目指す」、「見積もる」、「予定である」、「可能性がある」、およびこれらと同様の表現は、将来予測に関する記述であることを示しています。本資料に含まれている過去の事実以外のすべての記述は、将来の経営に関する当社グループの財務状況、事業戦略、経営計画および目標(当社の製品に関わる開発計画および目標を含む)を含め(ただし、それだけに限定されない)、将来予測に関する記述です。当該将来予測に関する記述には、既知および未知のリスク、不確実性、その他の要因が含まれているため、当社グループの実際の結果、業績、または実績は、当該将来予測に関する記述に含まれたり示唆されたりしている将来の結果、業績、または実績と大きく異なる場合があります。当該将来予測に関する記述は、当社グループの現在と将来の事業戦略および将来の事業環境に関する数多くの想定に基づいています。当社グループの実際の結果、業績、または実績と将来予測に関する記述の内容とに大きな違いをもたらす重要な要因として、特に製品の創薬と開発に伴うリスク、臨床試験に関わる不確実性、期待よりも遅い被験者の募集、患者に対する当社グループの製品の投与に起因する予期しない安全性の課題、製品の製造に関わる不確実性、当社グループの製品の市場の受け入れ不足、成長を管理する当社グループの能力欠如、当社グループの事業分野および市場に関わる競争環境、適切な資格を有するスタッフを確保・維持する当社グループの能力欠如、当社グループの特許および所有権の法的強制力または保護の欠如、当社グループと関係会社の関係、当社グループの製品を陳腐化させうる技術の変化および発展、その他の要因が挙げられます。これら要因には、東京証券取引所および日本の金融庁へ提出された当社グループの開示済み報告書に記載された要因が含まれますが、それだけに限定されません。当社グループは、将来予測に関する記述に含まれている期待および想定は当社グループの経営陣が現在入手できる情報に適切に基づいていると考えていますが、一部の将来予測に関する記述は、結果として不正確となりうる将来の出来事に関する想定に基づいています。将来予測に関する記述は、本資料の日付の時点のものであり、当社グループは、新しい情報が将来入手できた場合でも、将来予測に関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。

本資料は、何らかの有価証券の勧誘を構成するものではありません。本資料およびその内容は、いかなる契約または確約の根拠となりません。本資料の受領者は、本要約の内容を法律、税金、または投資のアドバイスと解釈してはならず、それに関しては自己のアドバイザーへ相談すべきです。

本資料およびその内容は機密情報であり、当社グループの書面による事前同意を得ることなく、全部または一部を複製、公開、その他の形で配布してはなりません。当該資料は、いずれかの司法管轄区または国の個人または組織に対して現地の法律または規制に違反して配布される、またはそれにより使用されることを意図していません。

本資料には、非GAAP財務データが含まれています。本資料に含まれている非GAAP財務データは、IFRSに従って計算された財務実績のデータではなく、IFRSに従って決定される利益または営業利益の差し替えまたは代用、業績の指標、または営業活動により生み出されるキャッシュフローの差し替えまたは代用、または流動性の基準として捉えるべきではありません。非GAAP財務データは、IFRSに従って報告された当企業の実績の分析の代用としてではなく、それに追加して扱うべきです。

本資料の「会計年度」は、2018年1月1日より前の期間に関しては各年の4月1日から翌年の3月31日までの12カ月間および2017年4月1日から2017年12月31日までの9カ月間を意味します。当企業は、2018年1月1日以降、会計年度を1月1日に始まる12カ月間に変更しています。本資料で言う「会計年度」は、それに従って解釈すべきです。

「Sosei Heptares」は、東京証券取引所に上場しているそせいグループ株式会社のコーポレートブランドです。「そせい」、「Heptares」、当社グループのロゴおよびStaR®は、当社グループの商標または登録商標です。

# 式次第

1

開会宣言

2

議決権個数のご報告

3

監査委員会の監査報告

4

2022年12月期の連結業績・事業報告

5

今後の事業展開

6

決議事項

7

質疑応答

8

採決

9

閉会宣言



1

開会宣言

Opening Declaration



2

議決権個数のご報告  
Report on the number of  
voting rights



3

監査委員会の監査報告  
Audit Committee Audit Report

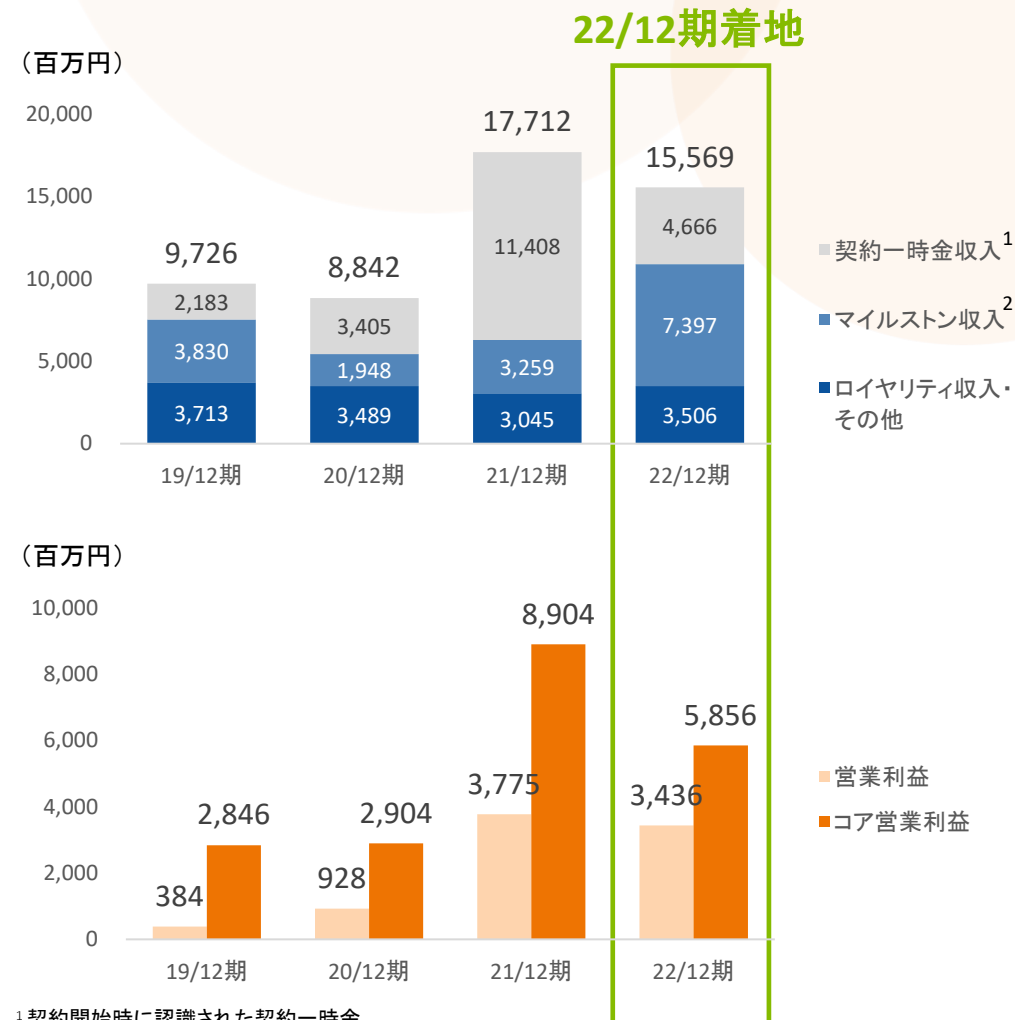


4

2022年12月期の事業報告  
連結業績

FY2022 Consolidated Results  
Business Report

# 2022年は力強い売上/利益の創出と、継続的な研究開発投資を両立



<sup>1</sup> 契約開始時に認識された契約一時金

<sup>2</sup> マイルストーン達成時に認識されたマイルストーン収入+前受金取崩額

1

売上収益は15,569百万円(前年:17,712百万円)  
契約一時金は減少するも、マイルストーン増加により一部相殺

2

コア営業利益は5,856百万円(前年:8,904百万円)  
売上収益の減少に加えて、将来の成長に向けコア研究開発費が1,324百万円増加

3

当期利益は383百万円(前年:1,017百万円)  
関連会社MiNA社に関し、持分法で会計処理されている投資の減損損失1,836百万円を計上

4

現金及び現金同等物は666億円  
大半を非連続的な成長を達成するための企業買収、およびアセットの導入のために確保



# 2022年は複数の新規提携により、プラットフォームの競争優位性を、さらに拡大・強化させ...

## 基礎研究/探索における進捗

1

世界をリードする  
創薬



**verily**

AIにより新規GPCRターゲットを特定済



**KALLYOPE**

新規ターゲット探索のための新プラットフォーム



**Genentech**  
A Member of the Roche Group

複数のプログラムにおいて5件のマイルストーンを達成



**abbvie**

神経疾患の複数ターゲットに対する最大12億ドルの新規提携  
炎症性疾患の提携から10百万ドルのマイルストーンを受領



**Lilly**

糖尿病および代謝性疾患領域の複数のターゲットに対する  
最大7億ドルの新規提携

# ...さらに2つの後期臨床試験の開始など、臨床段階のプログラムも大きく進展

## トランスレーショナルメディシン/ 臨床開発における進捗

2

キャッシュフローを  
創出する重要な  
提携



GLP-1作動薬の良好なフェーズ1臨床結果の発表  
2022年下期にフェーズ2b試験開始、10百万ドルのマイルストーンを受領



M4作動薬の新薬臨床試験開始申請をFDAが受理。2022年下期に  
フェーズ2試験開始、30百万ドルのマイルストーンを受領



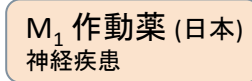
mGlu<sub>5</sub> NAMがフェーズ1試験のFDA承認を取得し、米国国立衛生研究所  
(NIDA)から5.3百万ドルの助成金を獲得

3

研究開発体制の  
転換



EP4拮抗薬に関する新規提携で、がんへの臨床試験を効率化



期初の目標通り、新たに1件の前臨床候補化合物を特定



研究開発体制の転換と成長の加速、およびトランスレーショナルメディシン  
機能の強化のための戦略的提携

# 当社監査人は2022年12月期財務諸表について無限定適正意見を表明予定

EY新日本有限責任監査法人(EY)は2022年12月期当社連結および単独財務諸表について監査を実施

- EYは監査報告書において、以下の通り、無限定適正意見を表明する予定

上記の財務諸表が、国際会計基準に準拠して、そーせいグループ株式会社及び連結子会社の2022年12月31日現在の当社グループの財政状態並びに同日をもって終了する連結会計年度の成績及びキャッシュ・フローの一状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、そーせいグループ株式会社の2022年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

そーせいグループ株式会社が財務報告に係る内部統制は有効であると表示した上記の内部統制報告書が、財務報告に係る内部統制の評価結果について、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

# 当社グループのミッションとビジョン



## ミッション

世界をリードするサイエンス  
によって人生を変える  
医薬品を生み出す



## ビジョン

日本発の国際的な  
リーディングバイオ  
医薬品企業になる

# 1990年の創業以来、長い道のりをへて...

 **sosei**

1990年 - 会長である田村真一により設立

1992年 - シリーズAで1億円調達

1994年 - シリーズBで4億円調達

90s

2005

英アラキス社を買収  
ノバルティス社に導出した  
呼吸器疾患治療薬が  
2012年に上市



2004



IPOにより110億円以上を調達  
東証マザーズに上場(証券コード:4565)

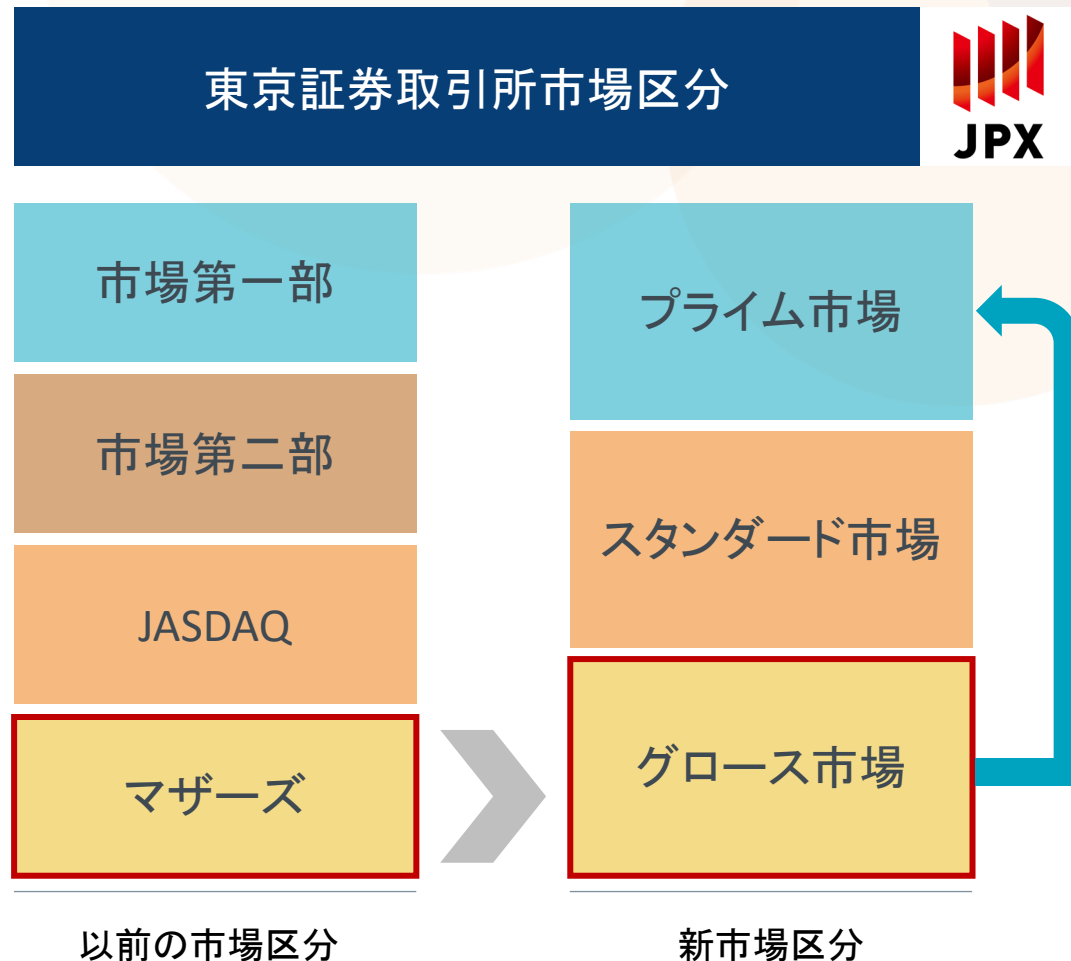
2015

 **HEPTARES**  
therapeutics

英ヘプタレス社を買収  
極めて生産性の高い  
創薬プラットフォームを獲得

 **sosei**  
**HEPTARES**

# ...非常に数少ない、東証プライム上場のバイオ企業の1社に成長



- ✓ 収益基盤
  - ・ 売上高100億円かつ時価総額1,000億円以上
- ✓ 流動性基準 – 流通株式数、株主数および売買代金の充足
- ✓ ガバナンス – 流通株式比率の維持

23年3月8日 グロース市場からプライム市場への上場市場区分変更を東証が承認

23年3月15日 プライム市場への上場市場区分変更

23年5月以降 TOPIX構成銘柄に組み入れられる予定

# 自社開発/提携のバランスがよい、堅実かつ多様化されたパイプラインを持つ企業となり...



## 15以上のプログラム

**創薬提携 (進行中/実施済)**

複数ターゲット 複数ターゲット 消化器系疾患 炎症性神経疾患 糖尿病代謝性疾患

**技術提携**

## 開発中の主要パイプライン

|                                                       |                                               |                                           |                           |
|-------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|-------------------------------------------|---------------------------|
| <b>M<sub>1</sub>M<sub>4</sub> 作動薬</b> NBI'570<br>神経疾患 | <b>CCR6 拮抗薬</b> PF'894<br>炎症性腸疾患              | <b>M<sub>4</sub> 作動薬</b> NBI'568<br>統合失調症 | <b>ウルティプロ®</b><br>COPD    |
| <b>M<sub>1</sub> 作動薬</b><br>神経疾患                      | <b>MC4 拮抗薬</b> PF'669<br>拒食症                  | <b>GLP-1 作動薬</b> PF'532<br>2型糖尿病/肥満       | <b>シーブリ®</b><br>COPD      |
| <b>GPR35 作動薬</b><br>炎症性腸疾患                            | <b>mGlu<sub>5</sub> NAM</b> TMP-301<br>物質使用障害 |                                           | <b>エナジア®</b><br>喘息        |
| <b>CXCR4 抗体</b> KY1051<br>がん免疫                        |                                               |                                           | <b>オラビ錠®</b><br>口腔咽頭カンジダ症 |

## 10以上のプログラム

**EP4 拮抗薬** HTL'732  
 がん免疫

**GPR52 作動薬**  
 神経疾患

**EP4 作動薬**  
 炎症性腸疾患

**M<sub>1</sub> 作動薬 (日本)**  
 神経疾患

提携

自社開発

15 注:シーブリ®, ウルティプロ®, エナジア®およびブリーズヘラー®はノバルティス社の登録商標です。

# ...将来の成長と価値創造を加速させるべく、明確で進化した戦略 を実行中

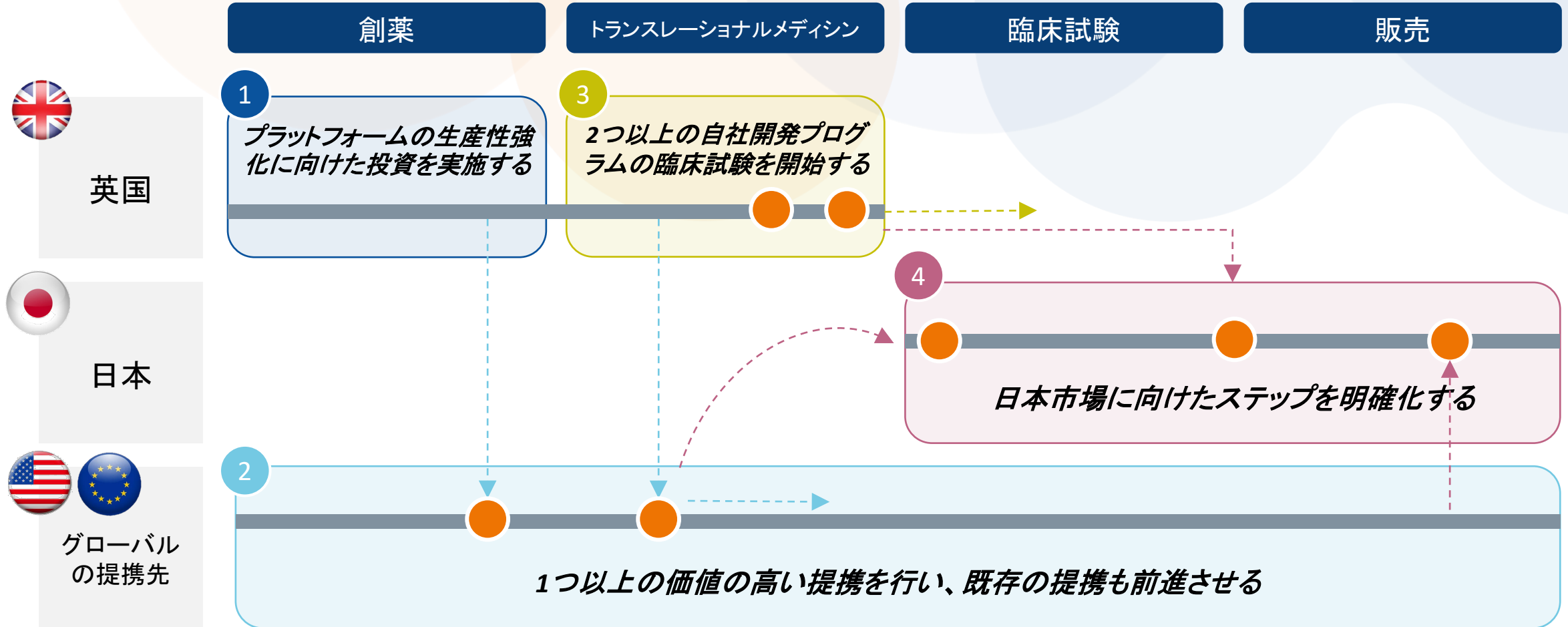
(グラフはイメージです)

これら4つの柱のいずれも、投資やM&A  
などの、チャンスを活かした戦略アクション  
によってさらに加速する可能性





# 2023年は、戦略上の4つの柱すべてで成果をあげ、事業全体を前進させていくことに注力し...



# ...2030年までに、「日本発の国際的なリーディングバイオ医薬品企業になる」という、ビジョンの達成を目指す



パートナーとの提携による新規医薬品のグローバルでの上市

日本での商業化ビジネスの構築

有望なプログラムからなる広範なパイプラインの構築

持続的な業績

日本発のリーディングバイオ医薬品企業



5

連結計算書類の監査結果報告  
Report on Audit Results on the  
Consolidated Financial Statement



6

決議事項

Matters to be Resolved

# 第1号議案

取締役9名選任の件（招集ご通知 7頁-18頁）

|   |              |                        |    |    |    |
|---|--------------|------------------------|----|----|----|
| ① | 田村 眞一        | 取締役会会長<br>指名委員長、報酬委員   | 再任 |    |    |
| ② | クリストファー・カーギル | 取締役<br>代表執行役社長CEO、報酬委員 | 再任 |    |    |
| ③ | 遠山 友寛        | 社外取締役<br>監査委員長、報酬委員    | 再任 | 社外 | 独立 |
| ④ | 加賀 邦明        | 社外取締役<br>監査委員          | 再任 | 社外 | 独立 |
| ⑤ | デビッド・ロ布林     | 社外取締役<br>報酬委員長、指名委員    | 再任 | 社外 | 独立 |
| ⑥ | 永井 智亮        | 社外取締役<br>指名委員、監査委員     | 再任 | 社外 | 独立 |
| ⑦ | ロルフ・ソダストロム   | 社外取締役<br>監査委員、報酬委員     | 再任 | 社外 | 独立 |
| ⑧ | 関 美和         | 社外取締役<br>監査委員、指名委員     | 再任 | 社外 | 独立 |
| ⑨ | 富田 英子        | -                      | 新任 | 社外 | 独立 |

注：現在の当社における地位および担当を記載



7

質疑応答  
Q&A



8

採決  
Vote



9

閉会宣言  
Closing Declaration



## SOSEI HEPTARES

〒102-0083

東京都千代田区麹町2-1

PMO半蔵門11F

The Steinmetz Building

Granta Park, Cambridge

CB21 6DG

United Kingdom

North West House

119 Marylebone Road

London NW1 5PU

United Kingdom